



ご挨拶

春暖の候、弘願院檀信徒ならびに「安養～弘願院だより～」をご覧の皆さまにおかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より弘願院の寺門興隆のために種々ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

先日山門前掲示板にこのような言葉を掲げました。

他人を簡単に批判してしまう

そんな私たちにはなりたくない

新型コロナウイルスの影響は全世界にも及び、国内での感染も急に増えております。自粛要請に関わらず、自分の身と周りの人の身を案じて行動しましょう。

様々な行事が中止・延期・縮小になっております。経済にも大きな影響が出るのが心配されます。先が見えない不安、連日流れる報道に対して受け手は簡単に、自由に批判をしてしまいます。

今この危機的状況な時に我々日本が・日本国民が、【他人を簡単に批判してしまう国(国民)になってしまいうことも同様に危惧します。】

現代はテレビ等のマスメディア・インターネット・SNSの普及により様々な情報が入りやすくなりました。正しく使えば便利なものとなりますが、我々の使い方によって、あたかも自分が精神的優位に立ち、いとも簡単に他人を批判してしまう。そのような悪い癖がつき始めていませんか？

様々な人が様々な立場で一生懸命に今の危機的状況に立ち向かっている。様々な意見はあると思いますが、批判することが癖になれば何事も前向きに受け取れません。

わが身わが心に手を当て、批判することよりも「共生」の精神で互いに協力し合い、支え合いましょう。

私自身もお寺の在り方を改めて考えなおす機会となりました。これからもお寺だからこそ発信できることを堂々と伝え、お釈迦さまの教え、法然上人の教えをもとに「心の処方箋」をお届けしていく所存であります。

弘願院 森岡 達圭

年間行事について【再送】

新型コロナウイルスの影響により年間行事に変更が生じました。2020年度は秋に彼岸法要を予定しておりましたが、来年度の春に延期となりました。下記の通り改めてご案内いたします。

法要の後には法話のお時間をいただいております。各行事の由来や仏教について、浄土宗の教えについてお取次ぎさせていただきます。ご家族の方と調整いただき、一人でも多くの方に法をお伝えできますことを願っております。

2020年度 弘願院 年間行事(改訂版)

3月20日(金祝)

春季彼岸会

(しゅんき ひがんえ)

【当番寺院:極楽寺様(寺町5丁目)】

延期

新型コロナウイルスの影響により、**延期**になりました。

今年度秋の彼岸法要の当番寺院は引き続き、極楽寺さまです。



6月27日(土)14時より

施餓鬼会

(せがきえ)

「餓鬼」は生前に物惜しみや嫉妬の想いが強く、そうした行いの報いとして飢えや渇きに苦しむ餓鬼道に堕ちた者を意味します。この施餓鬼会は餓鬼に食べ物などを施し、供養する法要です。法要でおとなえしたお経や、お念仏の功德をご先祖に振り向け、極楽での安穏と、併せて私たちの福德延寿を祈るのです。極楽浄土からご先祖を迎えるお盆とは少し異なり、施餓鬼会は自他ともに救われる功德を積むことが大切とされています。



9月22日(月祝)

秋季彼岸会

(しゅうき ひがんえ)

【当番寺院:極楽寺様(寺町5丁目)】

春彼岸同様に極楽浄土への思いを新たにします。そのご縁を作ってくださいご先祖さまへの真心を捧げることが出来る大切な機会です。季節の移ろいを感じながら、ぜひ家族そろってお寺参り・お墓参りをし、先立たれたご先祖を偲び、感謝の気持ちを捧げましょう。



4月26日(日)14時より

法然上人御忌会

(ほうねんしょうにん ぎよきえ)

北陸で広く浸透している「報恩講」は浄土真宗を開かれた親鸞聖人の御命日の法要ですが、浄土宗を開かれた法然上人の亡くなった忌日を偲び、そのお徳を讃える法要を

「**御忌**」といいます。

浄土宗の総本山、京都の知恩院で開かれる特別な法要でしたが、今では全国各地の浄土宗寺院でも法要が行われています。



10月25日(日)

十夜法要

(じゅうやほうよう)

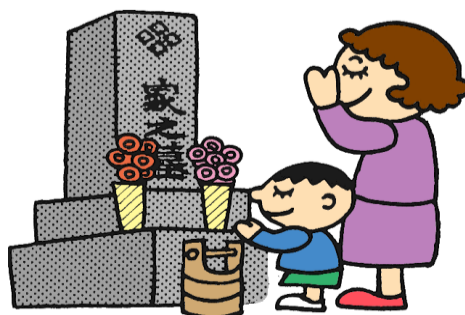
浄土宗でよりどころとするお経に「十日十夜のあいだ、善行を行うことは、他の仏の国で、千年ものあいだ、善行を励むよりもすぐれている」との一説が由来です。もちろんその善行とは「南無阿弥陀仏」とお念仏をとこなえることです。行事の秋ともいわれる季節、十夜法要に参拝して「お念仏の秋」をお過ごしください



7月13日(月)~16日(木)

お盆

金沢市内は「新盆」としてお盆を迎える風習があります。お墓参りだけではなく、本堂に上がっていただき、ご本尊である阿弥陀さまへもご挨拶にお越しください。



弘願院に新しいタイプのお墓(永代供養も可能)が建立します

この度、弘願院山門を入ってすぐ右側のスペースに「納骨墓(のうこつぼ)」といわれる新しい形のお墓の建立を予定しております。「納骨墓(のうこつぼ)」は屋外に設置された従来のお墓のスタイルに近く、マンションのような集合型のお墓です。一つ一つの区画がコンパクトに設計されています。

全国的には実績がありますが、このたび北陸地方・石川県で最初の導入となりました。

建立に至った経緯は、住職の私自身がより多くの方にこの弘願院というお寺とご縁を結んでいきたい。一人でも多くの方に浄土宗の教え、お釈迦さまの仏教の教えを伝える一つのきっかけにしたいと考えたからであります。

我々が生きるこの現代は、モノが豊かになる一方で「心の豊かさ」が不足しているように思います。

「お寺=敷居が高い、見えにくい、わかりにくい」というイメージがあるかもしれませんが、年中行事・法話・寺報の発刊・写経会・御詠歌など、お寺だからこそできることを日々実践し、仏さまの教えをより具体的に、わかりやすくお取次ぎさせていただくことを心がけます。

供養の形も段々と変わってきておりますが、揺らいではならないのは「亡き方を弔う想い」です。ご先祖様の供養を通じて脈々と繋がってきた「命のつながり」を改めて実感するとともに、仏さまの教えに出会い、その教えを基に今生かされている我々が「明るく・正しく・仲良く」暮らしていく指針を浄土宗の教えの根幹である「南無阿弥陀仏」お念仏の教えを通じて皆さまにお取次ぎさせていただきたい所存であります。

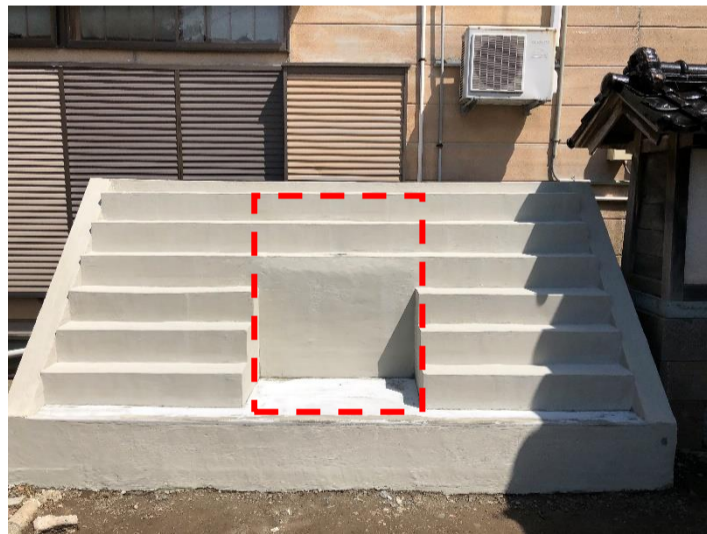
完成は6月ごろを予定しています。後日改めてご紹介いたします。取り掛かりとして9区画を準備しますが、要望いただく声がありましたら増設も考えております。「納骨墓(のうこつぼ)」の詳細は下記のURL または QR コードよりご覧ください。

【のうこつぼ】

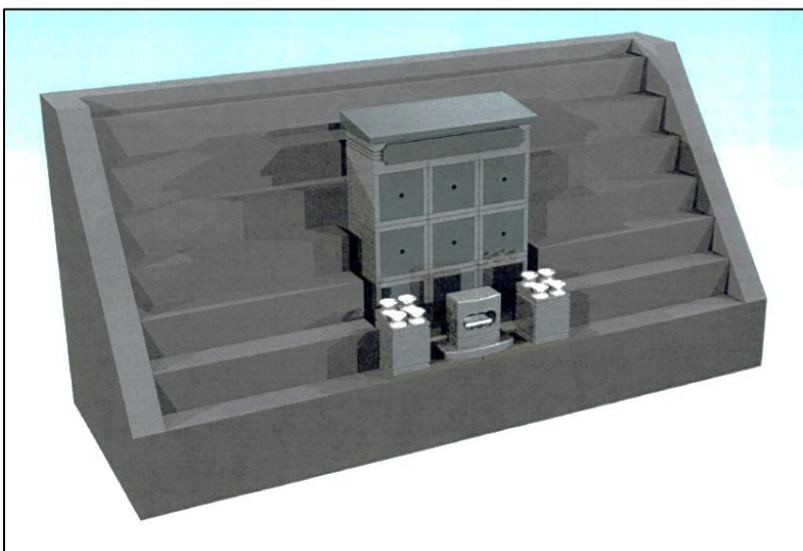
URL : <https://noukotsu.co.jp/>

「のうこつぼ」または上記URLで検索ください。

または、右のQRコードはお手持ちの携帯電話のカメラで読み取りください。



弘願院の山門を入って右側の段々になっている部分があります。その中央に9区画設置予定です。



完成予想図

ぐがんいん
弘願院に「のうこつぼ」
間もなく**完成**します！
～「のうこつぼ」とは納骨堂とお墓を融合させた新しいお墓～

私達を取り巻く環境は、時代の流れとともに変化し、お墓も同様に変化しています。「後継者がいない」「お墓の管理が難しい」「将来的には永代供養にしたい」等の様々なご事情をお持ちの方が増えてきています。予算・家族体系・墓守り等の不安が安心に変えられるのが「のうこつぼ」です。ご親戚やご友人等、お悩みの方がいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。

- ◆過去の宗旨・宗派は問いません
- ◆従来の墓石と同様、弘願院の敷地内にあります
- ◆従来の墓石と違い建立が不要です
- ◆従来と同じ太陽の恵みを受けながらお墓参りができます
- ◆屋外にあるのでいつでも気軽にお参りができます

骨袋にて納骨
1区画1～4霊位まで
納骨可能

使用区画に
ネームプレートを設置

販売中
一部屋**49.8万円** ※別途、維持年間費1万円/年がかかります。

ぐがんいん
弘願院
〒921-8031
石川県金沢市野町1-3-87
☎076-243-8024

取次店 株式会社 愛心
〒152-0003
東京都目黒区碑文谷3-13-14
☎0120-148-085

チラシ見本

冬から春の弘願院の様子

今年の冬は例年になく雪の少ない冬でありました。除雪のために意気込んで新品を用意したスコップも使わないほどでした。この冬から春の時期も弘願院では刺繍仏涅槃図の公開や春のお彼岸など、様々な方にお参りいただきました。その時の様子を含めた最近の弘願院の様子を少しご紹介します。



チューリップと風車のコラボ(^^)/



実際の刺繍仏涅槃図は迫力満点!



チューリップが綺麗に咲きました♪



頭が寒いので笠をください…(@_@)



阿弥陀さまの前にも華を散らしました☆



きちんと整列したスイセン達😊

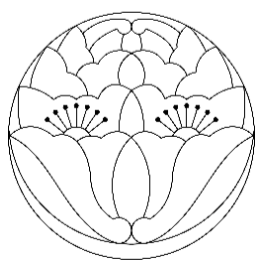
編集後記

1日も早くこのコロナウイルスの感染拡大が終息に向かい、落ち着いて過ごす日が戻ることを切に祈るばかりです。

自分自身だけでなく周囲の方の身も案じながら生活してまいりましょう。

先の見えないゴールがこれほどまでに辛いものかと改めて実感しました。

互いに協力し、支え合う気持ちを忘れずに。



浄土宗 安養山

ぐ がん いん

弘願院

〒921-8031 石川県金沢市野町 1-3-87

Tel : (076) 243-8024 Fax: (076) 243-5165

mail : guganin.jodo@gmail.com



ホームページ



facebook



Instagram

※携帯電話のカメラを近づけてQRコードを読み取りください。

金沢市 弘願院

法然共生

「安養～弘願院だより～」
第7号

発行年月日 2020年4月10日

発行者 安養山 弘願院

住職 森岡 達圭 たっけい